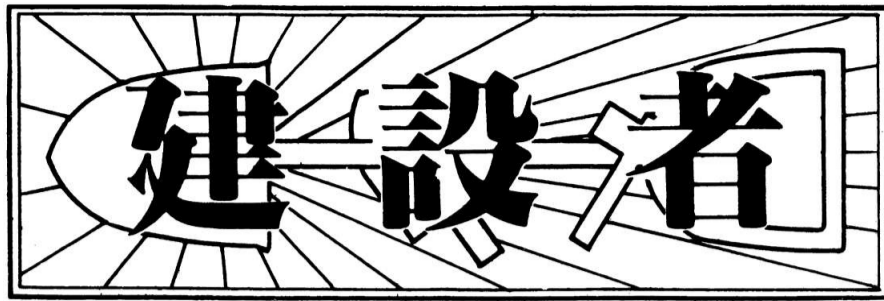


今月の葛飾組織現勢

2026年4月1日	3,954人
加 入	59人
転 入	2人
脱 退	62人
転 出	3人
2026年5月1日現在	3,950人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4

電 話 (5698) 1 2 6 1

F A X (5698) 1 2 6 2

発行人 関 根 伸 正

第73回葛飾支部定期大会



井岡委員長

4000人支部回復へ

4月12日(日)第73回葛飾支部定期大会をテックノプラザかつしかで開催しました。参加者は本部来賓を含めて10

6人でした。山屋書記長による提案では、4000人支部への組織回復に向けた組織づくりの提案と産業対策への取り組みに加え、今大会では、支部財政の財政状況を説明したうえで



大会最後に参加者全員でガンバロウ三唱

の組合費の引上げの提案、納入方法のコンビニ払いに向けた提案が大きな中心議題となりました。また先行してコンビニ払いに取り組んでいる本田立石分会からも経歴報告がありました。支部提案に対し、参加者からの財政状況と組合費引き上げの関係性などの質疑討論を踏まえ、本大会の議案提案が承認され新年度の運動方針を進めていくことが決議。新執行部の承認を受け、葛飾支部の新年度の運動がスタートしました。

林さん退任

花束贈呈



林武志さんへ花束贈呈

また、今大会で常任執行委員を退任となった林武志さん(本田立石分会)へは、加々美女性の会会長から花束贈呈がされました。最後は、阿久津副委員長の掛け声とともに参加者全員でガンバロウ三唱で終了となりました。

950円の組合費引き上げ

7月納入(8月分)から

4月12日に開催した第73回支部定期大会で、組合費改定の提案を行い、承認をいただきました。これにより、7月納入分(8月分)より組合費を950円引上げさせていただきますこととなりました。

現在、支部の財政状況は赤字が続いています。直近10年間で止まらない組織減少、物価高騰が大きな要因です。本来頼るべきではない財政調整基金をあてながら、支部運営を行ってきた。改善のため、支出の

見直し、削減を行ってきましたが、立て直すことはできませんでした。

今後の財政状況の検討・討議を進めてきた結果、組合費改定という結論に至りました。厳しい状況の中ではありますが、みなさまのご理解とご協力よろしくお願いたします。

今月より、ハガキでのご案内及び、群会議でのチラシ配布で組合費改定をお知らせいたします。7月初旬には、改定後の金額を封書にてご案内する予定です。

◆◆◆ 新たに選出された役員のみなさん ◆◆◆

- 第73回支部定期大会で選出された役員は次の通りです。支部執行委員長は、本部中央執行委員となります。
- ◆ 執行委員長 井岡 進 石工・たつみ
  - ◆ 副執行委員長 阿久津大造 塗装・奥戸
  - ◆ 小川 眞也 電気・本田立石
  - ◆ 日高 清 建築金物・中央
  - ◆ 山屋 英 書記局
  - ◆ 書記次長 深谷 隆行 書記局
  - ◆ 沼 美幸 書記局
  - ◆ 小藤 隆之 書記局
  - ◆ 四役待遇(本部常任中央執行委員) 後藤 英雄 大工・本田立石
  - ◆ 賞金対策部長 日高 清 (兼)
  - ◆ 労働対策部長 佐藤 智夫 建築金物・中央
  - ◆ 技術対策部長 上村 光輝 建具・たつみ
  - ◆ 安藤 泰雄 内装・本田立石
  - ◆ 土屋 忍 型枠大工・幸田
  - ◆ 社会保障対策部長 糸賀 之充 石工・水元
  - ◆ 厚生文化部長 小川 眞也 (兼)
  - ◆ 組織部長 阿久津大造 (兼)
  - ◆ 後継者対策部長 阿久津大造 (兼)
  - ◆ 教育宣伝部長 関根 伸正 電気・北水元
  - ◆ 財政部長 日高 清 (兼)
  - ◆ PAL会長 日高 清 (兼)
  - ◆ 学習制度化委員長 関根 伸正 (兼)
  - ◆ 女性の会担当役員 井岡 進 (兼)
  - ◆ 常任執行委員待遇 柳澤 豊(青年部長)
  - ◆ 加々美聖子(女性の会会長)
  - ◆ 会計監査 上村 光輝 建具・たつみ
  - ◆ 執行委員待遇 加藤 信男(建長会会長)
  - ◆ 執行委員 南條 公太(たつみ)
  - ◆ 南條 実(たつみ)
  - ◆ 石塚 克久(奥戸)
  - ◆ 小泉 昭一(奥戸)
  - ◆ 佐藤 崇(本田立石)
  - ◆ 岩佐 勉(青戸)
  - ◆ 石井 秀嗣(中央)
  - ◆ 高橋 昌義(堀切)
  - ◆ 筒井 豊(亀有)
  - ◆ 中田 哲也(亀有)
  - ◆ 小野瀬祐次(細田高砂)
  - ◆ 新田 智和(細田高砂)
  - ◆ 安藤 正樹(柴又)
  - ◆ 遠山 毅(新金町)
  - ◆ 宮沢 和広(新金町)
  - ◆ 金城 千鶴(北水元)
  - ◆ 田中 満(北水元)
  - ◆ 松山 文洋(幸田)
  - ◆ 伊藤 兼夫(幸田)
  - ◆ 上村 千尋(水元)
  - ◆ 井上 成典(水元)

◆◆◆ 演 ◆◆◆

東京土建葛飾支部の新年度の運動が定期大会を境に始まった。今年度は4000人支部への復活を進めていくことになる。みなさんからの協力なしには運動は進まない。組織人員の減少も大きな一因として、今年度組合費の大幅引き上げを皆さんにお願いせざるを得ない状況にまでなり、今年7月納入から組合費引き上げとなる。ご理解・ご協力を改めてお願い申し上げます。

組合費引き上げとなる一方で、私たちの生活を取り巻く環境は一層厳しさを増しているのも現状である。ホルムス海峡をめぐるイラン情勢は、早い解決が進まない場合、私たちの生活に大きな影響を与えかねない大きな問題だ。すでに建設に関わる面では、ナフサ不足による石油化学製品の不安定供給は大きな問題となっている。断熱材やシンナー、接着剤など私たちの仕事に関わる石油由来製品は非常に多い。長期にわたって不足を解消できなければさらに深刻な影響がある。日本政府には戦争終結に向けた日本でのその発信力、アメリカとイランへの強い働きかけを進めてもらいたい。早期解決は、全世界が望むものである。

そんな中、4月21日、日本政府は殺傷・破壊能力のある武器を原則輸出できるようにした。あわせて憲法改正に向けた改憲発議の構想もある。非常に気になる動きで、これまで築いてきた平和である日本の形が変わってしまう恐れがある。注意が必要である。

# 第1分科会 組織・後継者・青年部

## 協力しあって拡大運動を



第1分科会報告  
左から新田さん・井上さん

【議長】井上成典（水元）

・新田智和（細田高砂） 書記  
・山屋英（書記） 代議員  
20名、特別代議員3名の総勢  
23名で行いました。

議長提案後、質疑応答に移り、参加者より「拡大において分会に支給している助成金やジャンボハガキなどに費用を費やしているが、効果は出ているのか。また、ジャンボハガキは継続するのか。」という質問があり、執行部から「拡大行動は新規組合員の加入を拡大することと組合の活動に新たに参加する仲間を拡大する取り組みの両方を重点に取り組んでいる。費用対効果を出すのは難しいが、分会の中で話し合い、どのように利用するか、有意義に活用してほしい。難しく考えずみんなで協力し合って拡大運動を進めてほしい。」と答弁がありました。

がありました。また、「イベントに参加した方の名前を、分会に教えてもらえるのか。」という質問には、執行部より「部会では公表している。希望があれば教えます。」という答弁がありました。

後継者対策の提案の後、青年部より総会議案の報告がありました。すべての議事が終了し分科会の議案の承認を拍手で確認し、分科会を閉会しました。

【議長】芳井武（青戸）  
宇佐美正治（北水元） 書記  
●松沢慶子・石井世惟也（書

# 第2分科会 労対・厚文

## 石綿の有害性の公表が早ければ



第2分科会報告  
上から芳井さん・宇佐見さん

【代議員】14名、特別代議員2名の総勢16名で行いました。

労働対策議案について小川部長より、経過・情勢の報告がありました。参加者より「生まれも育ちも四つ木で、住まいの隣がアスベスト工場だった。10時12時に空ぶかしをする時、キラキラしていたのを覚えている。うちの職人さんは後から肺がんで亡くなったが、もっと早く公表していればよかったのと思う。アスベストが有害ということがわかっていれば、もっと早く公表・揭示してくれていれば、防ぐこともできたと思う。」と意見がありました。別の参加者から「鉄骨の建物が増えてきて昭和50年代は吸ってしまった職人は多いと思う。」という意見がありました。

参加者から「壁紙の糊、ペンキ、コロナアルの屋根材、スレートにも入っていて、職人だけじゃなく、一般の家庭の人も暴露するのはどう知らせたり、保障されるのか。」との質問に、執行部より「石綿健康被害救済法は労災保険が適用されない方（住民、家族従事者など）を対象としていなかったので、労災保険に加入していなかった申請できない組合員でも、アスベストを使う工場の近くに住んで暴露し、発症してしまった方は対象となります。」と回答しました。

【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

はじめに自己紹介をし、次に議案の提案を行いました。その後、コンビニ払い導入について、参加者に意見を求めました。【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

# 第7分科会 財政

## コンビニ払い導入に前向き意見



第7分科会報告  
左から佐藤さん・上村さん

【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

はじめに自己紹介をし、次に議案の提案を行いました。その後、コンビニ払い導入について、参加者に意見を求めました。

組合費改定の件では、しよろがないという意見が多かったです。やめる高齢者が多いのではと組織減少を心配する声もありました。「上げた組合費を下げることはあるのか。」という質問がありました。【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

# 第3分科会 仕事・技術

## 地域貢献としての住宅デー

【議長】永井則夫（たつみ）  
書記 深谷隆行・高橋司  
（書記） 代議員6名、特別代議員2名、来賓1名の総勢9名で行いました。

はじめに後藤本部常任執行委員より、挨拶をいただき、参加者より自己紹介を行いました。その後益子仕事対策部長より、昨年度の運動の経過と今年度の運動の重点の報告、提案を行った後、担当書記からNAMAZUの本田消

【議長】永井則夫（たつみ）  
書記 深谷隆行・高橋司  
（書記） 代議員6名、特別代議員2名、来賓1名の総勢9名で行いました。

【議長】永井則夫（たつみ）  
書記 深谷隆行・高橋司  
（書記） 代議員6名、特別代議員2名、来賓1名の総勢9名で行いました。



第3分科会報告  
永井さん

防署からの要請の補強が行われました。後藤本部中執より、「応急木造仮設住宅大工職の登録で、八丈島の例を挙げ、八丈島では台風も多くこれからも支援が増えると思う。基本大工職だが、コロナアル工事もあるから、これから必要とする方は増えてくる。登録しておけば、仕事が少ない時期に参加できる。」と補強がありました。

参加者全員から、分会の報告を行っていただいたところ、奥戸分会の参加者より、「奥戸分会の住宅デーは以前は盛大に行っていたが、コロナ以降参加者が少なくなり、食べ

【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

【議長】上村光輝・佐藤美知恵（たつみ） 書記  
●沼美幸（書記） 代議員13名、特別代議員1名、総勢14名で行いました。

# 第4分科会 賃金・建長会

## 担い手3法の周知はかる



第4分科会報告  
近沢さん

【議長】近澤敏彦(奥戸) 書記||森淑彦(書記) 代議員9名、特別代議員4名、来賓1名の総勢14名で行いました。

自己紹介の後、賃金対策の議案提案がされました。質疑へ移りました。参加者から「担い手3法について、反応がない。何もわかっていない。ただ、知っている人からは「チャンスなんだよ」と言われた。これから何かできますか。」との質問に、執行部より「昨年度より周知をしているが、なかなか広がらない。本部や全建総連もユニチューブ作成しているの、これと共に支部としても周知していきたい。」と回答がありました。

また、「福利厚生も支払金が金額に入っていると言われ、労災を隠すことはできないと思う。」と回答がありました。

その後質疑に移り、代議員から「部会の中で部員から、新規で発行した分会新聞に対して、そのモチベーションを上げるために、本部は何か検討しているのか」という話題が出た。」と発言があり、本部吉川常任より「昨年、本部集計で新規発行したのは1支部1分会(足立支部)だった。おとしは2つくらいあった。本部としても新規発行は重視している。本部大会の議案の中にも分会名を載せるなど具体的に報告していきたい。新規発行に対する報奨は支部で検討してもらいたい。」

また、発行を促すために、定期発行(毎年新年号だけとか、各月発行など)無理のない中で発行できるように協力お願いします。」と回答及び提案がありました。

代議員より、「毎年受賞した。休憩をはさんで、建長会の報告へ入り、総会議案報告後、昨年行った聴力の学習会以降に、補聴器購入に携わった会員から報告をもらい、それを受け、参加者から「良いことを聞いた。」との意見がありました。その他、「レクの話や眼の話、建長会加入者を知ってもらうために組合員の目にふれるように加入者リストを分会配布した方が良い。」との意見もありました。

最後に本部熊切書記次長からの締めあいさつがあり、拍手で議案が承認されました。

# 第6分科会 税金・社会保障

## インボイス制度の廃止



第6分科会報告  
上から阿久津さん・赤川さん

【議長】阿久津正(奥戸) 川上雅敏(新金町) 書記||小野 晶康 代議員14名、特別代議員1名、総勢15名で行いました。

最初に各出席者より自己紹介を行いました。その後、林部長より税金対策部の経過報告を行いました。

報告及び議案提案がありました。議案提案を受け、出席者よりインボイス制度について意見が上がりました。インボイス制度撤廃に向けてどのような運動を展開していくべきなのか議論されました。そもそも消費税率が複数税率となっていることが、インボイス制度導入の口実となつている。消費税率を一律5%に引き下げるのが出来れば、インボイス制度は廃止せざるを得ない状況に追い込むことが出来る。実現に向けては国会議員を動かさなければならぬ。多くの人を巻き込むことも重要だが、何でも反対と言っているだけでは効果が無い。特に議員要請においては、困っている状況を伝えるだけではなく、なぜ消費税を引き下げる必要があるのか伝える必要があると意見がありました。また、インボイス番号の登録の有無について確認したところ、取引先からどうして登録してくれと言われたが、断固として拒否した。登録するのであれば、こちらから取引は断ると伝えたところ、別の大工を探してくれとも言われたが、結局取引は継

続していると話す組合員がいました。その際にも、仕入れ税額控除の話はなく、取引先も複雑なインボイス制度について困惑しているようでした。

論がありました。群会議において組合員からの不満についてどのように対応しているのか質問があったところ、引き上げについてはしばらく前から予測されていたものであり、引き上げになる情報を事前に伝える事で、群会議での混乱が避けられる。ハガキ要請行動こそが保険料引き上げの抑止力になることを組合員に伝える事の重要性が確認されました。又、公営国保と保険料のみを比較するのはなく、給付内容・共済制度を伝えることが脱退防止につながると思われました。最後にマイナンバーカードについて意見がありました。保険証機能だけでなくいろいろな情報紐づけされることへの不安や任意所持なのに保有者のみへのポイント付与は平等に反するとの声が上がりました。組合としてもマイナンバ制度自体に反対の立場ではあるが、マイナ保険証の存在を否定するのではなく、選択できる制度になるように運動を展開していくと説明がありました。

# 第5分科会 教宣・女性の会

## 分会新聞 無理のない定期発行を



第5分科会報告  
小林さん

【議長】小林伸次(本田立石) 書記||小藤隆之(書記) 代議員11名、特別代議員3名、来賓1名の総勢15名で行いました。

まず、井岡委員長から、次いで本部吉川常任から挨拶いただきました。その後自己紹介をし、続いて教育宣伝部について関根教育宣伝部長より議案提案がされました。議案で提案されている新加入者説明会の内容の一部を知ってもらうために、東京土建本部が作成した新加入者向け動画の①組合運動について、②組合の業務についての2本を視聴しました。

その後質疑に移り、代議員から「部会の中で部員から、新規で発行した分会新聞に対して、そのモチベーションを上げるために、本部は何か検討しているのか」という話題が出た。」と発言があり、本部吉川常任より「昨年、本部集計で新規発行したのは1支部1分会(足立支部)だった。おとしは2つくらいあった。本部としても新規発行は重視している。本部大会の議案の中にも分会名を載せるなど具体的に報告していきたい。新規発行に対する報奨は支部で検討してもらいたい。」

また、発行を促すために、定期発行(毎年新年号だけとか、各月発行など)無理のない中で発行できるように協力お願いします。」と回答及び提案がありました。

代議員より、「毎年受賞した。休憩をはさんで、建長会の報告へ入り、総会議案報告後、昨年行った聴力の学習会以降に、補聴器購入に携わった会員から報告をもらい、それを受け、参加者から「良いことを聞いた。」との意見がありました。その他、「レクの話や眼の話、建長会加入者を知ってもらうために組合員の目にふれるように加入者リストを分会配布した方が良い。」との意見もありました。

最後に本部熊切書記次長からの締めあいさつがあり、拍手で議案が承認されました。

最後に、分科会を解散しました。

### 新加入者説明会 組合を知ろう

新しく加入した組合員向けの新加入者説明会を開催します。東京土建に加入して何が利用できるのか。ぜひ参加してください。

日時：6月4日(木) 19時~

対象：1~6月に加入した組合員のみなさん

会場：葛飾支部会館

### 春月間拡大成果表

	2026年		1月比増減	春拡大目標	春拡大加入数	春の拡大 成果表 4月27日現在																		増減
	1月1日付	5月1日付				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
たつみ	482	478	-4	17	8	●	●	●	●	●	●	●									増減▼9			
奥戸	379	382	3	14	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					増減○2			
本田立石	289	292	3	10	4	●	●	●	●												増減▼3			
青戸	136	130	-6	5	2	●	●														増減▼3			
中央	337	348	11	12	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	増減▼12			
堀切	248	243	-5	9	1	●															増減▼4			
亀有	376	368	-8	13	2	●	●														増減▼3			
細田高砂	355	365	10	12	10	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	増減▼1			
柴又	155	155	0	5	1	●															増減▼5			
新金町	274	265	-9	10	3	●	●	●													増減▼4			
北水元	180	173	-7	6	3	●	●	●													増減○3			
幸田	249	249	0	9	4	●	●	●	●												増減▼4			
水元	352	349	-3	12	2	●	●														増減▼15			
その他	159	153	-6	6	1	●															増減○5			
合計	3971	3950	-21	140	61	4月61人 5月 人 合計=61人																		

1月1日付人員比 マイナス 21人



日高副会長の決意表明

## 分会五役学習会・春の拡大出陣式

### 目標は140人 60人加入からスタート

今年も分会5役学習会および、春の拡大月間出陣式を合わせて、4月23日(木) 19時よりシンフォニービルズ別館のレインボーホールで開催しました。参加者は、支部役員、各分会役員および、青年部・女性の会・建長会、書記局あわせ92人(昨年105人)でした。

教官部主催の分会5役学習会では、関根教官部長より、分会に在籍の組合員に対してのチラシ(所属する意識を高めるための分会活動への参加を促すチラシ)と6月に開催する新加入者説明会について説明。担当書記より加入・共済・国保についての実務学習、続いて、沼書記次長から

今年度より推奨している組合費・保険料のコンビニ払い納入方法の説明がありました。

その後、春の拡大出陣式に移行。阿久津組織部長(奥戸)より、この春の拡大月間について行動重点など提案がありました。春の拡大月間がスタートしました。その後、13の分会青年部・女性の会・建長会がそれぞれ登壇し、壇上で拡大スローガンの読み上げ、目標達成に向けての決意表明がありました。春の拡大月間の目標は140人。この出陣式での各分会からの拡大成果の報告は60人(昨年47人)ありました。

実増をめざすためにも、5月1日付3950人で21人減少の組織人員を回復、大幅な人員増を目指して取り組んでいきます。まわりに現場に入るために労災保険の加入を求められたなど未加入の方から声を聞いたら組合に相談ください。組合員であれば業務利用ができます。未加入の仲間にも紹介をお願いします。

- 【統一行動日】
- 第5次…5月13・14日
- 第6次…5月21日
- 第7次…5月27・28日



4月テクノでの集団健診

【社会保障対策担当 小野書記】4月19日(日)にテクノプラザかつしかで支部集団健診を実施しました。年度初めの健診には133名の仲間が受診がありました。健診と同時に実施した特定保健指導の面談者は9名でした。国保料の抑制に健診受診率向上は効果があります。集団健診以外でも提携の医療機関であれば、自己負担なく健診を受け

## 新年度初 集団健診

### 133人が受診

ることが出来ます。提携の医療機関は国保組合HP又は国保ガイドで調べることが出来ます。健康で長く建設業に貢献するために、ご家族を含めて年度内に1度健診を必ず受けて下さい。

今回のテクノプラザかつしかで行う支部集団健診は7月12日(日)を予定しています。健診に関するお問合せがあれば支部迄お願いします。



## 葛飾区子どもまつり 晴天でにぎわう

子どもまつり

4月26日(日) 毎年恒例行事となっている葛飾区子どもまつりが晴天に恵まれながら開催となりました。このまつりには東京土建葛飾支部も参加し、工作教室を展開しました。当日の組合から指導員としての参加者は65人。工作教室のメニューは、本立て・プラントー・銅板表札・自由工作の4種類を展開し、親子連れの来場者を迎えました。

10時の開会と同時に多くの親子連れが東京土建ブースに来場し、作りたい工作を選び、親子で工作開始。指導員と一緒にノコギリ・金つちを使う

## 公式LINE登録しよう

て作り上げた工作(本立て・プラントー)は、表面に焦げ目をつけニスを塗って完成。完成した作品を手の子供の笑顔があふれる会場となりました。

当日の子どもの来場者の受付は338人でした。参加されたみなさんお疲れさまでした。

小・中学 入学祝金  
中学 卒業祝金

申請忘れにご注意を